



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第5号
2008年7月

(ご挨拶)

皆様の御支援御協力に心より感謝御礼申し上げます。
深谷市議会議員になり1年が経過しましたが、日頃の議員活動を多くの市民の皆様に御報告し開かれた政治にするため、市政レポート第5号を発刊させていただきました。
これからも市民の皆様のお意見を聞かせていただき、「住みやすい・暮らしやすい・子育てしやすい街」深谷市の実現に向けて活動して参ります。
今後とも皆様の御支援御協力を宜しくお願い申し上げます。

(ご報告)

深谷市議会 平成20年度第2回定例会6月議会が終了しました。
主な議案
・深谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
・深谷市ひとり親家庭等医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例
・深谷市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
他、7議案に報告3本、請願4本という内容でした。

議員全員協議会

この協議会の位置付けが、未だよく理解できないのですが、いつも濃い内容が市当局から報告され質疑されるのですが、そこでのやり取りが何の拘束力も無いように思えてなりません。とにかく1回は議員に話しておけばという感じに取れるのですが。
今回は報告として上柴地区複合施設整備事業の進捗状況が説明されましたが全て口頭のみでのものでした。この事業は老朽化した上柴公民館(体育館併設)の建替えに絡み、例えば隣接するショッピングセンターなどの民間業者が事業者となり施設を建設し、その中に公民館などが間借りするという画期的な内容(土地は市が貸与し建設費は民間業者が負担する)なのですが、あまりにも説明不足ではと感じます。しかも開業は平成22年11月ということです、事業者決定には公募型を採用し今年11月初旬には決定したいとのことですが、私は、もっと市民の皆様公表すべきなのではと思えてなりません。この問題は、しっかりと調べていきたいと思えます。
他には(仮称)市立保育園民営化検討委員会の設置について報告されましたが、民営化については検討委員会の答申を得て庁議で決定するとも報告されました。ということは検討委員会で民営化したほうが良いのではという意見が多ければ我々議員や市民の皆様のお意見を聞かずに民営化が決まってしまうということです。

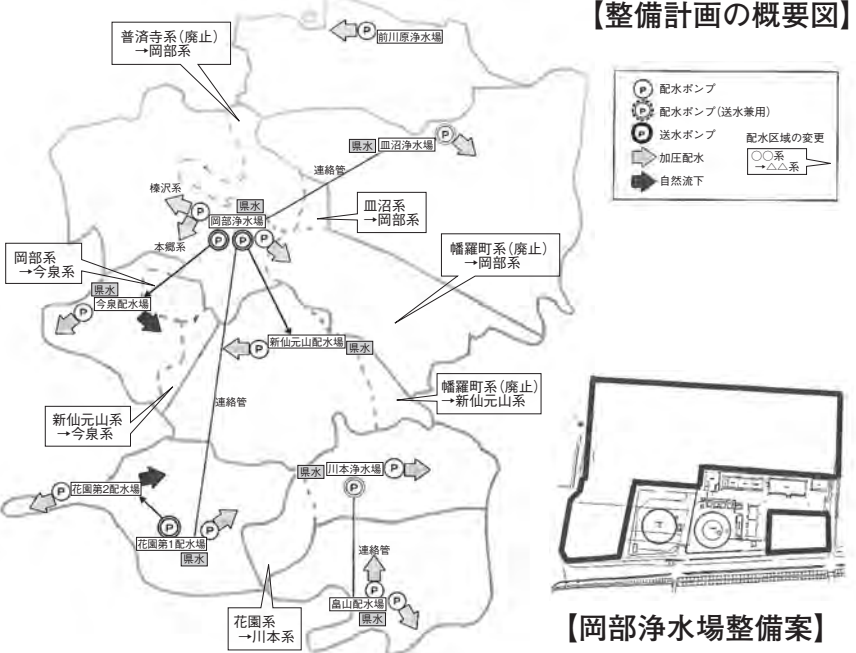
*庁議とは、市長・副市長・部長級の会議体です。(非公開)

私は、どちらの案件も議論が必要であり、何より市民の皆様並びに関係者の意見をよく聞いてやらなければならないと強く感じます。

注目している事業

深谷市水道事業 基本計画(長期整備計画)
この計画は平成18年1月1日の合併により旧1市3町の水道事業が統合され、現在単に4つを合わせただけになっているものを改めて1つの事業として事業内容を見直し、長期的に健全かつ効率的な事業運営を確立させていくための計画です。計画期間は平成21年度~平成32年度までの11年間、概算事業費は136億円規模が予想されます。

- ・主な整備計画の内容
- ①幡羅浄水場、普濟寺浄水場の廃止。
- ②岡部浄水場に深井戸10井を作井し大幅拡張する。
- ③岡部浄水場を集中監視のセンターとする。
- ④花園第2浄水場の耐震補強を行なう。
- ⑤新規に(仮称)畠山配水場を設け、新たな県水受水の配水拠点とする。



料金改定

合併後3年を目途に料金改定を行うとのことですが、1つの市でありながら水道料金が違うのは公平公正の観点からもおかしなものです。1番安価な旧深谷市の料金に合わせるのがベストですが、財政状況をよく精査し速やかな料金改定を訴えて参ります。

水道基本料金	旧深谷市	旧岡部町	旧花園町	旧川本町
13ミリ口径	840円	1,312.5円	1,575円	1,575円
20ミリ口径	903円	1,312.5円	1,575円	1,995円

(10立方メートルまでの料金)

平成19年度活動報告



平成19年6月の一般質問で幼稚園児の安全を訴え、実現した、花園幼稚園と花園学童の駐車場です。



老人会での後期高齢者医療制度の説明会を市の職員さんに来ていただき行ないました。



ポールが邪魔で、交通が不便だとの要望で道路改良をしました。



平成20年5月17日、4回目の市政報告会を行ないました。



平成20年6月22日 熊谷会館で開催されたヤンキー先生こと、元教育再生会議室長、現参議院議員「義家弘介氏」の講演会「夢は逃げていかない!」での硬い握手時の写真です。

6月16日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)

3月の第1回定例会に引き続き
今回もトップバッターとして登壇しました。

「近き者・喜び、遠き者・来る」 そんな街を創りたい。

そこに住んでいる人が喜んで、他の地域の人たちも住みたくするような街



内政不疚を貫き、自立財政強化のため様々な役場改革を実践され365日働く役場でも有名な福島県矢祭町・前町長 根本良一さんの言葉です。誰が何と言おうと全ては深谷のため、市民の皆様のためという「ブレナイ政治判断」私の道標にしております。

皆さん、おはようございます。議席番号3番 清水健一、発言通告に基づき質問させていただきます。

市民の安心安全確保について

質問 国民の生命と財産を守るのは国の重要な責務であり、深谷市民の生命と財産を守るのは深谷市の重要な責務であることは言うまでもありません。

そこで(1)深谷市安心安全まちづくり条例の中にもあります、市の責務として市民、事業者など及び警察署が意見交換をし、相互協力できる体制に努めなければならないとあるが、どのように行なっているのか?

答弁 深谷・寄居両警察署、防犯協定を締結した事業所、自主防犯組織と連絡をとり、活動しておりますが、今後は更に連携を深め防犯活動の強化をして参ります。

質問 (2)近年、減少傾向にあった深谷市内の全刑法犯罪認知件数が増加傾向にあるが深谷市としての対応を聞かせて下さい。また、事件として認知されない児童生徒への声かけ事案も多発していますが施策の考えを聞かせて下さい。

犯罪情勢 深谷警察署・寄居警察署(花園、川本地区)

	19年			計	20年			計	予測
	1~12月	1~12月	1~12月		1~4月	1~4月	1~4月		
	深谷地区	花園地区	川本地区		深谷地区	花園地区	川本地区		
強盗	9	2	0	11	1	0	1	2	6
強姦	1	0	0	1	0	0	0	0	0
強制わいせつ	9	0	0	9	3	0	0	3	9
侵入盗	295	52	31	378	73	8	7	88	264
自動車盗	51	5	5	61	12	0	0	12	36
オートバイ盗	63	9	2	74	34	1	1	36	108
自転車盗		25	18	43		9	1	10	30
車上狙い	126	32	12	170	72	13	11	96	288
部品狙い	61	4	11	76	33	4	12	49	147
その他	700	106	75	881	267	35	41	343	1029
小計	1315	235	154	1704	495	70	74	639	1917
その他の刑法犯	425	11	11	447	130	3	1	134	402
合計	1740	246	165	2151	625	73	75	773	2319

答弁 多発している内容として車上狙いや自動販売機荒らしが要因となっていますが、市としましては自主防犯パトロールの強化を呼びかけるなど、また、その際に使用されます防犯グッズの提供などを実施していきたいと思っております。



清水の 提言

●今年2月、全国で初めての取り組みとして埼玉県西部地域の4市(所沢市、飯能市、狭山市、入間市)と管轄する警察署(所沢警察署、飯能警察署、狭山警察署)が「埼玉県西部地域4市における防犯情報の相互交換等に関する協定」を締結しましたが、ここ深谷市は旧深谷市と旧岡部町は深谷警察署、旧川本町と旧花園町は寄居警察署と管轄が分かれています、同じく防犯協会も分かれています。是非、深谷市・寄居町・深谷警察署・寄居警察署で防犯協定を結び、地域ぐるみで安心で安全なまち作りができるよう働きかけて参ります。

学校の安全管理

学校は、子どもたちが1日の大半を過ごす学習の場であり、生活の場です。また、地域コミュニティや生涯学習活動の拠点であり、更には災害時の応急避難場所にも利用される施設です。したがって、子どもたちをはじめ利用する全ての人々にとって、学校施設は安全で快適なものでなければなりません。

質問 深谷市内29校の小中学校の施設点検は3年に1度と伺っていますが、何故3年に1度なのか?そして実施状況はどうか聞かせて下さい。

また、学校での事件・事故・災害への対応はどのようになっていますか?

答弁 学校では教員による日々の点検の他、毎月21日に管理職による点検の実施を義務付けております。専門業者による点検は確かに3年に1度となっております。

学校での事件・事故・災害発生への対応は、今年、安全管理マニュアルが完成し全教職員に配布しました、今後はマニュアルに沿って訓練を強化し学校の安全管理に努めて参ります。

質問 学校施設の耐震が問題視されていますが、今後の学校整備計画を聞かせて下さい。

答弁 市内29校の小中学校には現在108棟の建物があります、その中で耐震に問題がないのが88棟で耐震化率81.5%となっております。残りの20棟におきましても財政状況を見ながら随時、耐震工事を進めて参ります。



清水の 提言

●学校施設の点検が3年に1度というのは危険すぎます、東京杉並区の小学生が天窓から転落し死亡してしまった事故は記憶に新しいですが、施設の点検もPTAと教職員の皆さんで奉仕作業の時などに行なえば1年に2度は行えると思います。文部科学省では施設点検マニュアルなどを作成し国民運動として展開していくよう報道発表もしています。学校を含む公共施設は、取り壊してどんどん建てられたスクラップアンドビルドの時代からストックの時代になったと言われております、深谷市でも残り20棟の学校施設の耐震工事が終わる頃には、また他の学校での改修工事と繰り返し続くのです。ですから点検をまめに実施して壊れてから直すのではなく壊れないように保全することが大切なのではないでしょうか。それと同時に子どもたちに危険予知トレーニング(KYT)の実施を提案させていただきます。学校では保健の授業などで「ヒヤリ・ハット」地図などを子どもたちに作成させ校内や通学路において、ヒヤリとした場所やハットしたという危険箇所を地図に書き込みマップ作成をさせていますが、同時に危険を予知する能力を身に付けさせるという教育が注目され授業に取り入れている学校が出てきました。子どもたちが生きるうえで身に付けておかなければならない能力の1つであると思っております提案させていただきました。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(47才)

家族構成 父、妻、子供3人(6人家族)犬(オス)1匹(名前ショコラ)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園地区青少年健全育成会副会長
- 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールにて是非、御紹介して下さい。